

2019年8月13日

「第1回 介護業界人事AWARD」でグランプリを受賞

SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 遠藤 健、以下 当社）は、2019年7月23日の「住まい×介護×医療展」（高齢者住宅新聞社主催）のなかで開催された「第1回 介護業界人事AWARD」において、グランプリを受賞しました。

1. 背景・目的

「介護業界人事AWARD」※は人事担当者に焦点を当てたコンテストで、各事業者が取り組んでいる人事施策や採用施策の好事例を共有し、業界全体の好循環を生み出すことを目的に企画されました。当日はファイナリストに選ばれた9事業者が取組みを発表し、「成果」「汎用性」「革新性」を中心とした審査の結果、当社の取組み『要件定義の策定による評価・育成スキームの構築』がグランプリを受賞しました。

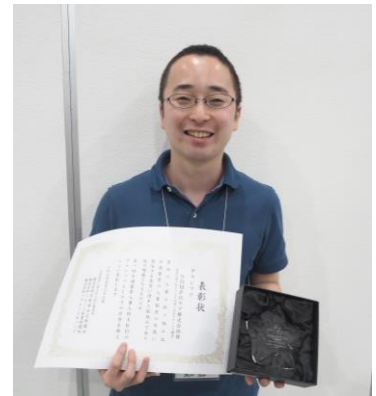
※「介護業界人事AWARD」…高齢者住宅新聞社、シルバー産業新聞社、リクルートキャリアが共催

2. 取組み内容

当社は昨年7月、地域のご利用者さまに在宅サービスから施設サービスまでフルラインで最高品質の介護サービスを提供することを目指し、介護事業4社の合併を行いました。それまでは各職種に求められている要件などが4社で異なっていたため、新会社において経営理念の実現に向け、社員がどのように働き、成長していくかという道筋を改めて明確にする必要がありました。

具体的には、現場部門や教育担当部門と協議、意見交換を行い、各職種（約50パターン）、各等級（最大10等級）に求められる能力項目（最大11項目）、職務項目（最大6項目）について要件定義を策定するとともに、加えてコンピテンシー（会社が求める行動特性）を明確化しました。各職種、各等級における全社共通の基準を定めたことによって、社員一人ひとりが成長するためには何が必要なのかが明確となり、キャリアアップに対して上司と部下が同じ目線で対話できるようになりました。また、要件定義をベースとした評価制度を導入したことによって、共通の基準で社員を評価できるようになり、評価の公平性、透明性が担保されました。

今般の「介護業界人事AWARD」においては、社員の活躍フィールドを大きく広げるために、さまざまな要件、基準を一つひとつ分解し、再構築してきたこれらの取組みが高く評価されました。



3. 今後について

当社はこれからも、人事制度を常に見直しながら改良を重ね、働きがいと働きやすい職場を提供し、ES（従業員満足）向上に努めていきます。そして、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」を実現すべく、ご利用者さまへ安心・安全・健康に資する最高品質の介護サービスを提供していきます。

以上